



2026年7月24日

各 位

株 式 会 社 F R O N T E O
代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏
(コード番号 : 2158 グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 理 財 務 統 括 部 長 國 枝 宏 美
電 話 番 号 0 3 - 5 4 6 3 - 6 3 4 4

ライフサイエンスAI事業（AI創薬分野）の成長加速を目的とした、
証書貸付契約及び当座貸越契約の締結について

当社は、下記のとおり、証書貸付契約及び当座貸越契約を締結することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 契約締結の目的

当社は、ライフサイエンス AI 事業（AI 創薬分野）において成長をさらに加速させ、本格的な収益化フェーズへ移行するとともに、同事業を当社の中核事業と位置づけ、中長期的な事業拡大を牽引するドライバーとしての確立を推進しております。

ライフサイエンス AI 事業（AI 創薬分野）は、方程式駆動型 AI「KIBIT」を活用し、疾患関連性の高い未報告の標的分子を抽出するとともに、その根拠となる疾患メカニズムの仮説を提示する AI 創薬支援サービス“Drug Discovery AI Factory”（以下、DDAIF）を提供しております。これまで DDAIF を軸とした当該ビジネスについて「共創プロジェクト」、「包括的共創モデル」、「DDAIF Innovation Bridge」及び「自社研究・共同研究」の4つのモデルへと拡張してまいりました。これにより、従来のアップフロント型収益モデルに加え、創薬のパイプライン創出から導出までを視野にいたした一時金やマイルストーン収入、ロイヤルティ収入などのアップサイド型の収益モデルを拡大し、非連続な成長と持続的な企業価値向上の実現を目指しております。

今後、当社が当該成長戦略を継続的に実行していくにあたり、（i）ソリューション・解析手法の高度化に向けた研究開発投資、（ii）専門人材の採用・育成を含む体制強化、

（iii）共創プロジェクト／PoC 等の推進に伴う投資・運転資金等、資金需要の増加が見込まれます。このため、当社は財務基盤の安定を図りながら、成長投資の機動性・安全性を高め、ライフサイエンス AI 事業の持続的な成長拡大を確実に推進することを目的として、本契約を締結することといたしました。

2. 借入の概要

① 契約1

- (1) 借入先 株式会社三菱 UFJ 銀行
- (2) 契約形態 当座貸越契約
- (3) 借入極度額 420 百万円
- (4) 契約締結日 2026 年 7 月 24 日
- (5) 契約期間 2026 年 7 月 31 日～2027 年 7 月 31 日

② 契約2

- (1) 借入先 株式会社三井住友銀行
- (2) 契約形態 特殊当座借越契約
- (3) 借入極度額 500 百万円
- (4) 契約締結日 2026 年 7 月 24 日
- (5) 契約期間 2026 年 7 月 24 日～2027 年 7 月 30 日

③ 契約3

- (1) 借入先 株式会社りそな銀行
- (2) 契約形態 証書貸付契約
- (3) 借入金額 300 百万円
- (4) 契約締結日 2026 年 7 月 24 日
- (5) 借入実行日 2026 年 7 月 28 日
- (6) 借入期間 2026 年 7 月 28 日～2031 年 7 月 28 日

なお、本契約はいずれも担保の設定及び財務制限条項を伴うものではありません。

3. 今後の見通し

本契約に基づく借入が 2027 年 3 月期の業績に与える影響は軽微であります。

以上